

# B-ism

NO.7

佛教大学

佛教大学広報誌  
mokuji

- 2 巻頭特集 Special CROSS TALK
- 6 オープン・フィールド
- 8 hot-TOPICS、大学の動向  
クラブ・サークル見聞録
- 10 「B-L.L 研究報告」
- 12 学生編集室の窓
- 14 「密着！ 瀬戸ゼミ」
- 16 輝き Close Up  
Listen UP—OB・OG訪問
- 18 Favorite「先生のお気に入り」
- 20 hot-TOPICS、大学の動向
- 22 B-Information

B-ism  
NO.7

発行日  
2013年(平成25年)12月12日

発行者  
山極 伸之

編集者  
広報委員会

編集・発行  
佛教大学広報課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL 075-491-2141(代表)  
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 二条キャンパス



保健医療技術学部看護学科 講師

## 濱吉 美穂

HAMAYOSHI Miho

大阪市立大学医学部付属病院勤務後在宅ケア実践、兵庫県立大学看護学部を経て2013年4月佛敎大学講師に着任。担当は老年看護学。趣味は登山と料理。



OKAMURA Masayuki

大阪府環境保健部、愛知みずほ大学を経て、2000年4月に佛敎大学社会学部教授。同社会福祉学部部長などを歴任。社会福祉学博士。専攻は社会福祉システム論、精神保健福祉論など。著書に「精神保健福祉論」(中央法規出版)など。

学長特別補佐(二条キャンパス支援室長)  
社会福祉学部社会福祉学科教授

## 岡村 正幸

司会進行

# 看護学は、地域に根ざし、暮らしに学ぶ。

看護学科の今日まで、そして、これから――

保健医療技術学部看護学科 准教授

## 高橋 亮



TAKAHASHI Ryo

国立小児病院(現、国立成育医療研究センター)、昭和大学横浜市北部病院、川崎市立看護短期大学、日本赤十字北海道看護大学を経て、2012年より佛敎大学保健医療技術学部准教授、博士(学術)。専門は小児看護学・国際看護学。



KATSUYAMA Mieko

前南丹市美山支所健康福祉課長。現在は、南丹市教育委員会社会教育課主幹(美山担当)。美山文化ホールの館長も務める。

南丹市教育委員会社会教育課主幹  
(美山担当)

## 勝山 美恵子

本学の保健医療技術学部「看護学科」が誕生して、1年半が経過した。ここで今一度、学科設立の経緯やカリキュラムの理念を振り返ると共に、1・2回生の学習成果、さらには今後の展望を論じる。

京都府南丹市教育委員会の勝山美恵子さんをお招きし、看護学科の教育拠点である二条キャンパスにとどまらない多様な学びと、看護に携わる人間に必要なとされる要素などについて、本学の先生方と語り合ってもらった。

(文中敬称略)

### ”人間を見る”という意識が浸透しつつある

岡村 本学の教育理念の大切な柱のひとつである「さまざまな人の生きる」を支援する専門家の養成という側面から、本学では理学療法士、作業療法士に続いて2012年、新しく看護師を養成する学科の設立に至り、約1年半の経過を見たわけです。

目指したのは多分野に精通し、コミュニケーション能力に秀でた看護師の養成です。そのために、交通至便な「街の中」に教育拠点

を構え、地域の人との交流を盛んに行える「仕掛け」をたくさん用意してきました。まずは、指導をされている先生方から、今日までの学生の動向などをお教えください。

高橋 本学科では1回生を、医療・看護に関する専門分野の学習に入る前段階と位置付け、教養教育科目及び「入門ゼミ」や「ふれあい実習」(その中には「国際看護学」といった科目を通して、大学生として基礎的な力を身に付けることに注力してきました。看護師は、当然ながら病気を抱えた方と接し

ますが、その方は患者さんである前に、一人の人間です。その人の人生経験や、暮らし方、文化的な背景に個人々特徴があり、看護師としてそれらを知った上で患者さんと向き合うことが大切であるという観点で、授業を進めてきました。患者を見るのではなく、「人間を見る」という、この意識付けは、約2年間の学習を経て学生の間に浸透してきたと感じています。

濱吉 私は今年度から講師を務めています。学生の興味分野の幅広さと、柔軟な姿勢に感心しています。1回生の入門ゼミでは、自ら課題を見つけ、その解決策を探ることを求めています。が、医療・看護分野以外の課題に取り組む学生も多く見られ、多様な価値観を持つっている様子が窺えます。一方で、自らの考えに凝り固まらずに、私の指摘や他の学生との話し合いの中で、考え方を修正していける柔

軟性も持っていますね。

高橋 看護師は専門職なので、看護の知識や技術のみを追求すればいいと考えがちです。しかし、本学の学生はそういうことはなく、視野が広い学びができています。1回生で大学の海外研修制度を利用して留学をした学生もいて、文学部や社会福祉学部など他学部の学生と同じスタンスで学んでいますね。これは専門学校ではなく、総合大学で看護学を学ぶ利点と言えるのではないのでしょうか。

### 固定観念を変えた美山町での実習

岡村 佛敎大学では、コミュニケーションを学びのキャンパスと位置づけ、学生がまちに出かけさまざまな交流経験を通して学ぶ教育を積極的に推進しています。看護学科で言えば、美山町で実施している「ふれあい実習」がその一つ。町の全面的な協力を得て、学生が貴重な体験をしていると聞

いています。実習の実現にご尽力くださった勝山さんから、感想をお聞いできますか。

勝山 佛敎大学さんと連携協定を結んでいる関係から、看護学科にも何らかの協力をさせていただければと考え、特別養護老人ホームをはじめとした施設や、高齢者が集うサロンなどをご紹介しました。学生さんに住民の方と触れ合う機会をご提供したわけですが、看護や介護の現場を間近に見たり、高齢者とお話をしたりして、充実した時間を過ごされたようですね。

岡村 学生、住民の方、双方の反応はいかがでしたか？

勝山 学生さんには過疎化と高齢化が進む町の状況も見ていただきましたが、住民の方の元気の良さに驚かれたようですね。住民同士のつながりの強さ、若者に代わって自分たちがこの町を守っているという気概を感じたと聞きました。住民

の方も楽しかったようで、「若い人から元気をもらって」「いつでも訪ねてきて」と、刺激を受けた様子でした。集落によっては、看護師の不足や、距離的に大きな病院への通院が難しいなど、医療サービスの提供が困難になる場面が美山町にはあります。地域医療の担い手として、将来、看護学科の学生さんの中から美山町で働いてくれる人が出てきてくれると嬉しいですね。



重な体験をさせていただきました。同時に学生が持っていたこれまでの高齢者像や過疎化像を、いい意味で覆せたのではないのでしょうか。温かく迎えてくださった美山町の方々に感謝したいと思います。

**濱吉** 過疎地、限界集落が抱える医療問題に對峙して、学生たちは非常にショックを受けていました。これまでに、自分たちがコンビニエンスストアに行く感覚で受けていた医療サービスを、享受できない現状がある。救急医療に興味のあった学生が、実習を終えて地域医療の現場を進路の選択肢として考えるようになっていきます。

### 新たな価値観を生む 海外での学び

**岡村** 社会福祉学部がさまざまな国の福祉のあり方を現地で学ぶように、看護学科でも海外をフィールドに

して学ぶカリキュラムが組まれていますね。

**高橋** 「国際看護学」という科目を1回生の前期から受講できます。私も担当教員の一人ですが、フィリピンの貧困地域でクリニックを開いている富田江里子先生に、非常勤講師として授業を受け持っていたいただきます。途上国で貧困状況にある人々の生活や、彼らに對して行われている医療とはどのようなものなのかを知ること、看護・医療に對する新たな価値観が生まれてくると考えています。

**岡村** 学生たちも実際にフィリピンに行くんですね？

**高橋** 2回生以降に演習として訪れます。貧しい人たちのために、寄付で成り立っている富田先生の無料クリニックに頼らざるをえない多くの人々、風土独特の重い病気がかかっている人、壁もなく、床が土という家で生活する人たちと学生は出会い

ます。しかし、貧困には笑顔がある。「幸せとは何か」ということについてでも大いに考えさせられると思います。

### 仏教の思想を 看護に生かしていく

**岡村** ところで、仏教の教えを建学理念とする大学で看護学を学ぶということについては、学生はどう考えているのでしょうか？ 仏教を学ぶ授業も受講していますが、看護との関係性についてどう捉えているのでしょうか？

**高橋** 仏教の教えは、人の生死について深く考察していく看護学科の今後のカリキュラムで生かされると思います。臨床データだけでは理解できない、例えば人が生まれて、死ぬことへの理解、学生の感性が仏教精神から磨かれるはずですよ。

**濱吉** 美山町での実習で、

学生の中には看護師をめざす者として、高齢者を助けたいという思いがあったようですが、道を教えてもらったり、餅作りを教えてもらったり、そして元気をもらおうなど、助けられ、教えられる場面がとても多かったと聞きました。助け合うことの大切さ、浄土宗における「共生（ともいき）」の思想を実感してくれたのではないのでしょうか。

### 広い視野を持ち、人に興味を持ち、看護師へ

**岡村** これからより専門的な学習に入っていく学生たちですが、勝山さんは今後の彼らと佛教大学の看護学科に何を期待されますか？

**勝山** 先ほどもお話したように、過疎地域は医療に関する問題を抱えています。大学を卒業されてすぐに赴任というのは厳しいかもしれませんが、経験を積んでいただい



美山に来てくれる人があれば嬉しい限りです。また、病院だけでなく、グループホームやデイサービスなどの介護施設でも人材を求めています。そちらへも関心を向けてくださればと思います。

**岡村** 高度な先端医療の学びとともに、地域の医療問題にも応えうる人材の育成も含めて、先生方から看護学科の展望をお聞かせください。

**高橋** 医療に携わるためには様々な知識、経験が必要になります。まずは基礎をしっかり磨く学習を進めていきます。また、看護学は、医学はもちろん、心理学、社会学、



経済学、経営学など、多分野の知識を要する極めて学際的な学問です。学生はいろいろな事柄に目を向けなければなりません。総合大学である本学であれば、そこをフォローできる。強みを生かした授業を展開していきたいと思っています。

**濱吉** 先日ボランティアに参加した際、本学の教育学部と文学部の学生と一緒になったんですが、私が看護学科の講師と知るや、たくさん質問してくるんですね。看護学科の学生には、学ぶことに食欲で、積極的な他学部との学生と接する機



会を、大切にして欲しいと感じました。地域で活躍するためには、より密接に個人に関わることになるので、まず人に興味を持ってなければなりません。病を診るだけでは駄目。多様な場所でも多様な人と触れ合い、体験を重ねて看護師としての軸を、まずは確立して欲しいと思います。

**岡村** 大学としてはそのための機会、「仕掛け」を、今以上に用意していかねばなりませんね。看護学科の今後に大いに期待したいと思います。皆様、本日はありがとうございました。



### 「ふれあい実習」

看護師として生活者の視点に立つことの意味を知るとともに、自己のコミュニケーションを客観的に振り返ることを目的とした、本学看護学科の1回生の科目。地域連携協定を結んでいる京都府南丹市美山町で、地域の方とふれあう実地研修を行っている。

### 「国際看護学」

看護のグローバル化にも対応できる人材育成のために、海外で看護活動経験を持つ教員による「国際看護学」と、それを踏まえて行われる「国際看護学演習」を開講している。今年度の国際看護学演習では、フィリピンのクリニックでの研修を予定している。

Open FIELD 2



「むらさきっず」の情熱  
紫野学区に高齢者コミュニティを誕生させた



「むらさきっず」発足は3年前のこと。本学の附置機関福祉教育開発センターのプロジェクトにおける紫野学区を舞台にした地域福祉フィールドワークの一環として、同区の単身高齢者の組織化を目指した社会福祉学部生が中心となり立ち上げました。

**生きがいを持って助け合う**  
「むらさきっず」発足は3年前のこと。本学の附置機関福祉教育開発センターのプロジェクトにおける紫野学区を舞台にした地域福祉フィールドワークの一環として、同区の単身高齢者の組織化を目指した社会福祉学部生が中心となり立ち上げました。

「二つ 火の元 火の用心、二つ 風呂場に 水ためて、三つ 身近に消火器を」。軽快なリズムに乗せて元気いっぱい防災の大切さを歌い上げる『防災かぞえ歌』今こそ問われる地域力。歌い手は、本学が立地する京都市北区にある紫野学区に住む一人暮らし高齢者を中心に結成された会「パープルフレンズ」です。昨年のデビュー以降、地元イベントへの出演やYouTubeへの動画アップなどで徐々に知名度を上げていて、会員数も50人を数えるほどに。「防災講座を開いてもなかなか集まってもうえない中で考え出したのが、歌作りでした。そう語るのは、同会発足に尽力した本学の学生による有志のサークル「むらさきっず」のメンバー、高橋朋之さんと川原明子さん。「パープルフレンズ」創設を支援してきたのが、彼ら「むらさきっず」です。



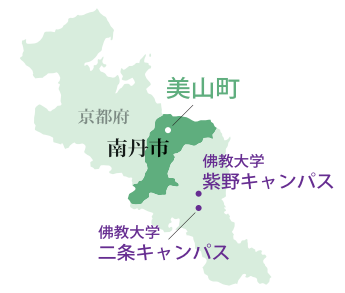
高橋朋之さん(写真左)、川原明子さん

「以前から紫野学区は高齢化が進み、特に単身の高齢者は全人口の6割を占める現状がありました。孤独死や無縁死の懸念も広がる中で、自治会、社会福祉協会の協力を仰ぎながら、高齢者が生きがいを持って支え合えるコミュニティ結成に向けて動き出しました。

**土地の魅力を曲に託して**  
当初は防災意識の向上をテーマに講座を開講するつもりでしたが、参加者が集まらず、悩んでいたところに地元住民からコーラス隊を結成してはどうかとの提案を得、募集を開始。すぐにメンバーが集まるに至り、作詞作曲を高齢者(学生と一緒に)行い、紫野という土地の魅力を歌った曲が完成しました。「パープルフレンズ」と名付けられたその会は、月2回自治会館に集まり練習を重ね、地元でのお祭りなどで披露。CD化も果たし、だんだんと認知度が高まるにつれ敬老会や市内の

今後の目標に、紅白歌合戦出場を掲げる「パープルフレンズ」と「むらさきっず」。地元内外で活動ステーションを広げながら、夢の実現に今日も邁進しています。

Open FIELD 1



企画立案のため、学生たちは4月からこの日まで現地でのフィールドワークやインターンシップなど、さまざまな活動

「エコツアーのコンテンツには、茅葺屋根やわら細工などといった美山町の魅力を取り入れて、田舎特有の親しみやすい雰囲気を作りたいな。10月23日、佛教大学では高御堂厚先生の指導のもと公共政策学科の学生10名が、12月に京都府南丹市美山町で実施するエコツアーの企画会議を行いました。エコツアーとは、自然や文化、産業、人々との交流など、地域固有の魅力を楽しむ旅行のこと。今年から佛教大学では、地域社会の過疎化などといった公共的課題に心える「地域公共政策士」(※)第1種の資格取得を目的としたプログラムを展開しています。その一環として、学生たちはエコツアーの実現に取り組んできました。

を通して美山町のことを調査してきました。その中で学生たちは、美山町の観光客は年配の人が多く、若者があまり訪れないことや、美山町にある5地区が各々異なる手段で地域活性化のための活動に取り組んでいることを知りました。そこで学生たちが今回エコツアーを主催する美山観光協会と南丹市美山エコツーリズム推進協議会に提案したのは、美山町への若者の誘致と5地区の共同体制作りを目的としたエコツアー。観光資源や現地の人との交流をベースとしたツアー内容は評価してもらい、企画を進めていくことになりました。



今回からいよいよ具体的なツアー内容を詰めていく段階。親子連れをターゲットに、「か

病院への出演依頼が来るようにもなりました。  
2013年2月には市の助成金を受けて、まらうた(地元を愛する住民による住民のための当地ソング)を持っている他地域からも団体を招いて「まらうたフェスティバル」を共催。活動の場を広げていきました。「現在まで、かぞえ歌を含め4曲が完成。会員数も増え、コーヒーマシンもカフェエいやピクニックも実施しています」と川原さんが会の盛況を話せば、「会員同士でのコミュニケーションの機会も増えてきています」と、当初目的の達成を高橋さんは喜びます。高齢者の元気に圧倒されることもしばしばと語るその笑顔には、活動の充実ぶりが窺えます。

高御堂先生は「エコツアーを企画・実施し、地域と密接に繋がることで得るものは多いはず。学生には、最終的にエコツアーでどのような効果が生まれたのか検証してもらいます。その過程が学生の成長に繋がります」と、今回の企画に学生が挑む意義を語ります。

5地区が連携プレーを  
高御堂先生は「エコツアーを企画・実施し、地域と密接に繋がることで得るものは多いはず。学生には、最終的にエコツアーでどのような効果が生まれたのか検証してもらいます。その過程が学生の成長に繋がります」と、今回の企画に学生が挑む意義を語ります。

学生の新たな挑戦「エコツアー企画」  
美山町の地域活性化に挑む

※地域公共政策士/平成23年度にスタートした日本初の地域認証資格制度。各大学・大学院がNPOや自治体などの他団体と連携して行う教育プログラムを履修し、所定の単位を取得することで資格が付与される。

# 1 硬式野球部

今年度京滋大学野球連盟リーグ戦は、春・秋ともに最終節まで接戦となり、最終の京都学園大学戦ではあと一歩のところまでいったものの、2位という結果に終わりました。来年度こそは春・秋リーグ制覇を目指し、チーム一丸となり練習に励んでいきますので、今後ともご声援のほどよろしくお願ひいたします。

## Record

### 2013年度京滋大学野球連盟リーグ戦

- 春季リーグ戦 9勝4敗(第2位)  
ベストナイン 張本優大、並田悠佑、村上兼英、中井廉太
- 秋季リーグ戦 8勝3敗1分(第2位)  
ベストナイン 川南恵佑、横田卓也



## Topics

張本優大さん(公共政策学科4回生)が福岡ソフトバンクホークスの育成ドラフト4位に指名!

10月24日に行われた、プロ野球ドラフト会議において張本優大さんが福岡ソフトバンクホークスより育成ドラフト4位に指名されました。

張本さんは、2010年4月に佛敎大学に入学し、3回生時には大学日本代表候補合宿に参加、京滋大学野球連盟リーグ戦ではベストナインを3回、敢闘賞を1回受賞しています。



# 2 陸上競技部 女子中長距離部門



第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が、10月27日に宮城県仙台市で行われました。14年連続の出場となる今大会では、第1区で19位と出遅れましたが、第5区の前田彩里選手(現代社会学科4回生)が8人抜き走りを見せ7位となり、次年度大会のシード権を獲得しました。

## Record

- 第90回関西学生陸上競技対校選手権大会  
1500m 優勝 前田彩里  
(5月9日~12日 於:大阪市長居第1陸上競技場)
- 第66回西日本学生陸上競技対校選手権大会  
3000m障害 3位 平井涼子  
(7月5日~7日 於:鳴門大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム)
- 第23回関西学生対校女子駅伝競走大会  
1時間40分56秒 4位(9月28日 於:神戸しあわせ村)
- 第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会  
2時間7分40秒 7位(10月27日 於:仙台市陸上競技場)

## Topics

### 2013全日本大学女子選抜駅伝競走大会に出場!

全日本大学女子選抜駅伝競走大会が、茨城県つくば市から静岡県富士宮市・富士市に場所を移し、4年ぶりに開催されることとなりました。ご声援のほどよろしくお願ひいたします。

12月23日(月・祝) 午前9時15分スタート  
於:静岡県富士宮市・富士市

テレビ  
放映

当日  
14:00~16:50  
フジテレビ系列



Hello!!

## クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、佛敎大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を部員が自ら紹介、語ってくれます。

## アイススケート部 男子アイスホッケー部門



### チームワークを大事に 全国大会出場を目指して奮闘中!

社会学部 社会学科4回生  
鈴木 聡士さん

一番大事にしているのはチームワークです。この部は僕が入部した頃から現在まで、アイスホッケー経験者と未経験者がほぼ同数ずつ所属していますが、常に一致団結して戦ってきました。入部当初の試合で経験者ばかりの強豪チームに勝利したことがありましたが、全員が「勝ちたい」という意識を持ち、チームとして戦った上での結果だったと思います。今でもミーティングをこまめに行い意見を出し合いながら、みんながコツコツとチームワークを磨いています。先輩、後輩問わず仲が良いですね。

活動は週2回の氷上練習と、週1~2回のウェイトトレーニング。OBであるコーチにメニューを考えてもらい、1時間半という短い時間の中で、濃密な練習を心がけています。



活動日:月曜・水曜・金曜  
活動場所:紫野キャンパス、滋賀県立アイスアリーナ、  
関西大学アイスアリーナ

活動日:水曜・木曜  
活動場所:紫野キャンパス



お箏を中心に、三味線や尺八といった日本の伝統的な楽器の演奏を行っています。私を含め24名いる部員のほとんどが未経験者。私も入部当初はお箏独特の楽譜の見方や弾き方に苦労しましたが、先輩や大師範の菊紫恵和子先生の丁寧な指導のおかげで上達することができました。アットホームな雰囲気、が部の魅力で、仲の良さはどこにも負けません。週2回の

練習と、春・夏の合宿でみんな日々、向上に努めています。年2回の大学祭や入学式、知恩院での成人祝賀式、さらには老人ホームへの慰問など、演奏披露の機会は年間を通してさまざまあります。毎年11月に行われる学外定期演奏会では、京都市内にあるウィングス京都の大ホールで演奏。多くの観客の前での演奏は緊張しますが、楽しいですね。また、京都にある大学の箏曲部が加盟する京都学生三曲連盟の演奏会では、他大学の学生とジョイントコンサートなどを行い、交流を深めています。どの演奏会も、選抜制ではなく、演奏会には意欲があれば誰でも出演できます。曲目は基本的に自分たちで決めて、先生の指導を仰いでいます。古曲からJ・POP・アニメソングまでレパートリーは幅広いですね。演奏会では、来てくれた皆さんの年齢層などに合わせて曲を選んでいます。私自身のクラブ生活はあと少し。素敵な仲間と先生に会えて、箏曲部での4年間は本当に充実していました。和室での立ち振る舞いや礼儀作法など、実社会でも役立つ教養が得られたことも大きいですね。定期演奏会ではOB・OGが演奏する機会もあるので、卒業後も続けていきたいと思っています。

B-ism  
2013  
December

## 箏曲部



### 未経験者がほとんど! 必要なのは意欲です!

歴史学部 歴史学科4回生  
湊 悠季江さん

お箏を中心に、三味線や尺八といった日本の伝統的な楽器の演奏を行っています。私を含め24名いる部員のほとんどが未経験者。私も入部当初はお箏独特の楽譜の見方や弾き方に苦労しましたが、先輩や大師範の菊紫恵和子先生の丁寧な指導のおかげで上達することができました。アットホームな雰囲気、が部の魅力で、仲の良さはどこにも負けません。週2回の

# 「歴史は庶民と共にあり、歴史はコミットする」

中国史を広い視野から細やかに見つめる

歴史学部歴史学科 准教授 **山崎 覚士**



しゅりようし  
周良史という人物をご存知だろうか。知っている方は、かなりの中国史通だろう。山崎先生はこれまで、教科書に登場することはないが、時に重要な役割を果たし、時にドラマチックな「脇役」にスポットを当てて、歴史の真実を導き出してきた。

も交易関係にあった」。山崎先生は修士・博士論文の中で「呉越は、貿易を軸として東アジアへ勢力を伸ばし、自国を中心とした独自の中華秩序の構築をめざした」とし、呉越における貿易の重要性を説いた。

## 海商の登場で貿易は根幹に

その後は呉越に限らず、唐代末期から宋代にかけての、中国全体の貿易政策にも探求の幅を広げてきた山崎先生。注視してきたのは、貿易商人の動向だ。「呉越が興る少し前から中国史上初めて、中国人の『海商』（貿易商人）が登場します」。呉越以前の中国は、貿易の中心点に過ぎず、海を越えて商売をしていたのはもっぱら外国の商人だった。しかし、中国の海商は自ら品物を買って、利潤を生んでいく。「海商の活動を王台として、都市や国は大きくなっていた」。権力者は海商を利用して自国を豊かにして、東アジアの経済的な覇

## 密売人や盗賊が国を創る

「中国史は、英雄だけのものではない」。山崎先生は、声高にそう叫ぶ。漢代の劉邦と項羽、三国時代の諸葛亮といった偉人は活躍ぶりが華々しく、その生涯がドラマ性に富んでいるため、惹かれる人も多い。しかし、

山崎先生の視点は学生の頃から異なっていた。「ずっと、私と同じ庶民の暮らしや歴史に興味があり、大学の先生に勧められ、呉越国の研究を始めました」。

9世紀後半、唐代の末期。中国は複数の王朝・国家が興亡する時を迎えていた。後に70年ほど続く五代十国

時代と呼ばれるこの時期は「小さな地方国家が多く、建国者は職人や密売人、盗賊上がりなど、庶民の中から台頭してきた」。

## 地方国家が中華秩序を構築

現在の杭州を中心に、浙江省と江蘇省の一部を支配した呉越の建国者もまた、

権を握ろうとし、一方で海商は権力者の庇護の下、商売に励んだ。やがて、市舶司という海上貿易の管理部署が中国各地に置かれるに至り、都市や国家における貿易の位置付けはさらに高まっていた。

で、京都で当時の皇太子に接見した記録もある」。

周良史はひなびた地域の海商だったが、日本との貿易拠点であった明州（現・寧波）の名望家の子女と結婚する。これは「周一族が日本との貿易を推進するために企図した、完全な政略結婚だった」。基盤を得た周良史は日本に帰化し、終生妻にも子供にも会うことはなかった。妻は、夫は亡くなったと聞かされていたが、日本の史料によれば生存が確認されており、とにかく「心よい旦那だった」。

## 「わがご主人と美談の妻

そして山崎先生は、一人の海商と出会う。名は周良史。宋の時代の海商で、中国史では無名の存在だったが、「日本史の世界では有名な人。日本に帰化して、中国との貿易を行っていた人物

この2時間ドラマのような実話は、中国史研究者たちには知られていなかった。が、山崎先生は中国での関連史料を見つけた。周良史の妻が、「夫に先立たれながらも子供を立派に育て、科挙に合格させたこと」で時の皇帝から褒め称えられた」との内容が記された碑文が見つかったのだ。碑文の存在はこの『美談』は、日本史研究者にも未知の史実であり、山崎先生の周良史研究は両者から驚きを持って迎えられた。

## 唐宋変革との関わりを追う

山崎先生は、周良史の調査から歴史学研究における指針を得た。「中国史だけ勉強していたのでは、周良史の全容はわからなかった。日本史はもちろん、東アジ



ア全体の歴史を知らなければ、中国史は理解できない」。一國の歴史は、他の国や地域との関係性の上に成り立っている。山崎先生はそれを「コミット＝関わり合い」と表現し、歴史学を学ぶ学



山崎 覚士(やまざき さとし)  
1973年大阪府生まれ。京都府立大学文学部卒業。同大学院文学研究科修士課程修了。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門は五代史・東アジア海域史・中国地域史。著書に『中国五代国家論』(思文閣、2010年)、主な論文に『書簡から見た宋代明州対日外交』(専修大学社会知性開発研究センター編『専修大学東アジア世界史研究センター年報』3号、09年)、『貿易と都市—宋代市舶司と明州—』(東方学会編『東方学』116輯、08年)、『九世紀における東アジア海域と海商—徐公直と徐公祐—』(大阪市立大学大学院文学研究科編『人文研究』158巻、07年)など。

生にも意識して物事にあたるべきだと提言する。「現代でも日本は中国や韓国などの国々と、政治・経済を含めあらゆる点でコミットしている。広い視野を持ってほしい」。

今後の研究課題も、「庶民とコミット」がキーワードだ。「中国における唐宋代は、国家体制や社会のシステムが大きく変貌を遂げた、『唐宋変革』が起きた時代。でも、その研究に庶民の活躍や海外貿易は組み込まれてこなかった」。現在は、庶民と貿易が大変革に与えた影響を明確にすると共に、同時期の他国の情勢も追う。「唐宋変革期には、東南アジアでも朝鮮半島でも、そして日本でも社会的な変革が起きている。相互の関係を探ってほしい」。視野はあくまで広く、視点はあくまで細やか。山崎先生の目は、歴史のすべてを見ようとしている。



ある日の瀬戸ゼミ

今日から宴会係は、シンポジウム係?

「オン・オフの切り替えがしっかりできている」とゼミ生が語るように、勉強する時は素晴らしく集中し、飲み会などではしっかりと楽しむ、それが瀬戸ゼミの魅力だ。

授業中でもしばしば脱線することがあるようで、この日も瀬戸先生が「～um と付く単語の起源はギリシャにある」と解説すると、ゼミ生から同類の言葉として「ミュージアム」や「シンポジウム」が挙がった。すると「シンポジウムを辞書で引いて、語源を調べてみよう」との指令が。「ギリシャ・ローマにおける酒宴会」との回答を導き出すと「そういえば」と、先生。「今度の飲み会の日は決まったの?」宴会係に尋ねると、話題はそちらの方へ。5分ほどを費やし日程を確定させると、「今日から宴会係は、シンポジウム係にします」とのお達し。「議題は?」とのゼミ生の質問には「飲みながら考えましょう」と一言。その瞬間、研究室は笑いに包まれた。が、ほどなくするとモードは切り替わり、ゼミ生たちはまた、集中の時間に戻っていった。



瀬戸先生が歓迎するのは、ゼミ生たちが自主的に勉強に取り組んでいる点だ。「朝は授業開始の1時間前から研究室で勉強している学生もいるし、午後の授業が終わった後も何人かで集まっ

て予習や復習をしている」と、積極的な姿勢に目を細める。この秋には、積み重ねた努力が実を結んだ。なんと、4人の学生が800点以上を獲得したのだ。「全員が達成する日もそう遠くはない」。達成した際にメディアの取材が殺到することも考慮して、「報道係」もスタンバイしているという。

「英語の教員をめざす人は、800点は最低獲得して欲しい」と語る瀬戸先生だが、必ずしも点数だけにこだわっているわけではない。「目標を掲げて、努力することが大切だと考えています。その跡は『オーラ

ている辞書は、瀬戸先生編集のもので、「一つの単語に対して、派生的な意味や多角的な表現方法が載っていて、とても実用的」と、彼らのバイブルになっている。

ゼミ生たちは瀬戸先生について「辞書を編纂されただけでも、すごい先生だということがある」と、「言語学の第一人者だと思っている」と、全幅の信頼を置いている。



点教員に瀬戸先生がゼミ生に求めるのは、「心身ともに元気であること」だという。「悩みを抱えていけば、勉強にも身が入りません」。定期的に「宴会」を開くのは、元気になって欲しいと願うからだ。「美味しいものを食べたり飲んだりしながらおしゃべりすれば、心が開けて、力も湧いてきます」。今年のゼミ生はことさらに元気。瀬戸先生は大いに期待している。

Professorial Seminars

文学部 英米学科教授

瀬戸 賢一

元気があれば何でもできる! めざせ、TOEIC800点!

英語という言語の仕組みを考える! 英語学の研究で知られる瀬戸賢一先生は、3年生対象のゼミにおいて学生14人とともに一つの目標を立て、邁進している。「彼らならやり遂げられるかもしれない」と、ゼミ生に期待を寄せる瀬戸先生の研究室を訪ね、その熱気に触れてみた。

瀬戸 賢一(せと けんいち)

1951年京都市生まれ。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。専門は英語学。博士(文学)。大阪市立大学文学研究科教授を経て現職。著書に「プログレッシブ英和辞典(第5版)」(小学館)、「日本語のレトリック」(岩波書店)、「メタファー思考」(講談社)、「ことばは味を超える」(海鳴社)など多数。

「合宿係」、「会計係」、「宴会係」。これらは、英米学科の瀬戸賢一ゼミに所属する学生に与えられた役割の一例だ。瀬戸先生は「役職」を付ける理由を「ゼミの運営を学生主体で進めてもらうため」と語る。英米学科3回生のゼミ生たちは、積極的にゼミ運営に関わることはもちろん、学習においても自主的に取り組み、成果を挙げ始めている。ゼミの目的は「TOEICで800点以上を獲得すること。TOEICは英語のコミュニケーション能力を測る目的で作られた検定試験で、今や社会的な認知度が高まり、就職の際に企業が評価する対象の一つにもなっている。しかし、「簡単に達成できるものではない。しっかりとした対策をとらなければなりません」と瀬戸先生が話すように、800点(満点990点)は高い壁(※)。正規の授業時間ではとても足りないため、ゼミは

金曜日の午前(2限目)と午後(4限目)の二部制を敷いている。今回取材陣がお邪魔したのは、「自主ゼミ」となる午後の授業。冒頭は前回の単語テストの返却から。点数に一喜一憂するゼミ生たちだったが、間髪をいれず5分間の単語テストがスタート。終了後は、TOEICの過去のリーディング問題を瀬戸先生の解説を交え、みんなで読み解いていく。構文や表現に関する説明はもちろん、「contract(契約)とcontact(接触)は見間違いないので気をつけよう」など、瀬戸先生の指摘は細やか。「問題を速く読めるようになるためには、まずは正確に読めなければならぬ。細部をしっかりとおさえられるようになれば、やがて要点だけを抽出できるようになります」。生徒の質問に対しては丁寧に対応し、注意すべき単語があれば、必ず辞書で確認させる。ゼミ生が使っ

※2013年7月実施分の全国平均スコアは585.4点(受験者数76,698人)



瀬戸先生が編集主幹を務めた「プログレッシブ英和辞典(第5版)」(写真・左)。11月には大学生向けに編集を行った英語勉強法のテキスト(写真・右)も発行した。

B-ism

2013 December





講師に自分の英語が通じない現実にショックを受け、一念発起。ご主人の体調が回復した

そつなへんこなしてはいたが、ある時外国人  
数学担当を希望したが、英語を教えてほしい  
と言われ引き受けた。

高校卒業後に結婚、出産。が、間もなくご主人が病に伏し生活は  
困窮する。都竹さんは複数の職をこなし、家  
庭を支えた。中学生の頃から家庭教師をして  
いた都竹さんは、やがて学習塾の講師の職へ。  
と語る英語との出会いは、30年以上前。やむにやまれず始めた勉強  
だった。

## いつも一生懸命！ 出会いに支えられた英語人生

まったく通じず一念発起



通信教育課程 文学部英米学科4回生  
都竹 恵子さん



ベトナムから持参したベトナムの風景を写した絵ハガキ  
ロアンさんの名前をベトナムの書道で書き表したもの(写真右)



## 「日本のものづくり」を研究 ベトナムと日本の架け橋に

「ドラゴンボール」がきっかけ

ベトナム出身のケン・ホン・ロアンさんが日本に興味を持ったのは、まだ子どもの時という。きっかけは「大好きだった」というマンガ。「ドラえもん」や「ドラゴンボール」はベトナムでも大人気だった。もう一つは、中学生になって始めた柔道。「勝ち負けよりも、その試合で自分は何を得られたのが大切」という教えに、日本への興味がさらに大きくなったという。

大学はホーチミン市外国語情報技術大学の日本語学科に進学。卒業後、就職した先で、日本語の読み書きはできても、会話は思うようにできないことにすぐに気づかされた。また、日本語の勉強を続ける中で、言葉を理解するにはその言葉が話されている国の文化を理解することも必要であると痛感。日本への留学を決意した。



大学院社会学研究科 社会学専攻修士課程2回生  
ケン・ホン・ロアンさん



大学院での研究テーマは「日本のものづくり」。江戸時代の鎖国によって欧米各国より近代化が遅れていた日本。明治維新後、海外から機械や技術を輸入し、さらにそれを独自の技術として改良して世界に広めていき、やがて経済大国となっていた日本の産業発展の軌跡を、繊維産業に注目して研究している。来日当初は言葉に苦労したが、現在は修士論文作成に向け、「日本の近代化と社会変動」「紡織」といったタイトルの専門書を読みこなしている。

### 初めて見た雪に感激

来日して印象的なのは、日本人がいつも忙しくしているように感じられることだという。『日本人は働きバチ』と聞いていたが、実際に来てみて、どういことが分かりました。アルバイト先のスーパーで、正社員が残業している姿に驚いた。「ベトナムでは、時間が来れば仕事が残っていても帰るのが普通です」。

また、ベトナムには雨季と乾季しかないだけに、日本の四季にも驚いたという。「冬というのが初めてで、雪を見たのも初めて。最初はロマンチックだと思っただけで、すぐに寒いってなりました」と笑う。

大学院修了後はベトナムに戻り、日系企業への就職を希望している。「日本で身につけた知識を活用して、ベトナムと日本との架け橋となるのが夢です」と瞳を輝かせる。



こともあり、本格的に英語に取り組んだ。塾経営者になった後も、仕事、子育て、身内の介護をしながら勉強を続け、英検1級合格も果たした。

大学入学は3年前。友人に「アメリカで外国人向けに日本語を教える仕事はないかと誘われ、大卒資格の必要性を説かれた」都竹さんは、その友人が本学出身者だったこともあり、「主人と息子も後押ししてくれて」学生生活をスタートさせた。

### 多忙を極めた本の出版

作文形式のリポート、試験など大学での勉強は新鮮だった。特に「長年愛用してきた英語辞書の編集主幹だった」瀬戸賢一先生の存在は大きかった。「博学で、数学的、論理的に英語を教えてくれる」瀬戸先生との出会いを喜ぶ都竹さん。「幼児の脳に英語の回路を作る教育法」に関する卒業論文も、興味深いと言ってもらえたという。

そして今年、卒業と教員資格取得に必要な科目をほぼ3回生時点で取り終えた都竹さんは、大仕事を成就させた。本(※)の出版だ。原書は英語で、都竹さんが翻訳を担当した。旧知の間柄だった原作者の「あなたに日本語訳をやって欲しい」という気持ちに心え10年前に完成させていた訳文の書籍化を、出版社から打診されたのだ。改めて文章の見直しを開始するも、仕事と大学の勉強も重なり多忙を極めた。しかし、原作者への思いと家族の励ましに支えられ、7月ついに発刊。上々の評判を得て「原作者からも、素晴らしい日本語訳だと言ってもらえた」。

何事にも懸命に取り組んできた都竹さん。今後の目標を尋ねると「アメリカ行きも含め、先のことにはわかりません。私の人生は人との出会いがすべてだったから。いろんな人との出会いと支えがあったからこそその人生と謙虚に語るが、自身のバイタリティがすべてを成し遂げてきたことは明らか。英語への挑戦はこれからも続いていく」。

※「竹林はるか遠く・日本人少女ヨーコの戦争体験記」(ハート出版)。原作者はヨーコ・カワシマ・フトキンス。1986年にアメリカで刊行後、数々の賞を受賞。中学の教材としても採択された。

ちびっこ計画／大塚謙太郎一級建築士事務所代表  
(一級建築士・子ども環境アドバイザー)

## 大塚 謙太郎さん

佛敎大学文学部史学科卒業

大塚 謙太郎(おつか けんたろう)

1974年兵庫県明石市生まれ。佛敎大学文学部史学科を卒業後、中央実務専門学校を経て、建築士に。2008年、大阪市生野区に保育園を専門とする建築士事務所を開設。大学時代は吹奏楽部でトロンボーンを演奏。

# 子どもたちにとって 最適の保育園をつくりたい



### 教師志望から建築家の道へ

「ちびっこ計画」。独立する際、建築士事務所としては少しかわった名前にした。保育園等、子どもを対象とした建築物を専門に設計する、という決意の表れだった。専門を特化することは、それ以外の仕事は来なくなる、ということでもある。自らを追い込んだ。

佛敎大では文学部史学科(現在の歴史学部)に在籍。子どものころから歴史が好きで、地理歴史科の先生を自指して大学の門をくぐった。転機は3年生の時に起こった阪神大震災だった。実家は兵庫県明石市で工務店を経営。父が建てた家の修復を手伝うべく、被災した街を奔走した。教職志望だったが、建築へと気持ちが傾き始めた。大学卒業後、専門学校に入り建築を学んだ。

勉強を続けるうちに建築のなかでも学校の設計に興味を湧き、卒業後は文教系に強い設計事務所へ。しかし、いざ入ってみると次々と任せられるのは保育園だった。保育園というのは、小さい子どもが集う場所ならではの配慮が必要な施設である。最初に担当した園は大学付属の園だった。

### ともあり、「指詰めはこう

考える」「ロッカーはこう作る」など具体的な対策を学問的な裏づけとともに教わった。しかし、次に担当した保育園でその知識を生かそうとすると、園長から「違つ」と。その保育を押し付けないでほしい」と言われた。その時、気づいた。「園舎の設計の正解は一つではない。その深さを知ると、保育園の仕事にがぜん興味が出てきた。

一人の大人として何ができるか 全国の保育園を見て回った。建築士としては、モダンなデザインへの憧れはある。しかし、「いくらいいデザインでも、保育ができないと意味がない」。一方、安全だけを追求しては「大人の都合でしかない」という思いも出てくる。数多くの園舎を見るうちに、「子どもたちにとって最適かどうか」が最優先だと思えるようになった。

2008年に独立してからも、その思いは変わらない。建て替えの依頼を受ければ、その保育園をまる一日観察し、刻みに生活の記録をつける。

現在、戦後のベビーブームに建てられた保育園が建て替えの時期にきている。「今、建築家が踏ん張って新しいスタイルを作っていないと、一人の大人として、子どもたち何ができるかを考えています」



さらには、模造紙に園の見取り図を描き、そこに保育士に気になっている箇所を書き込んでもらうワークショップを開く。そこから導き出される「子どもたちにとって最適」な保育園は、それぞれの園によってまったく違う。「園の数だけ答えは存在します。一つとして同じものはありません」

子どものサイズに合わせて天井を低くした部屋を作ったり、園庭が狭い時には建物の中まで庭にしたり。現場に寄り添って見えてきた課題を、ユニークな発想で解決する設計は評価を受け、すでに関西圏を中心に約30ヶ所の保育園に携わった。

大塚さんには、自分が設計した保育園で、自らの設計が正しかったのか、検証してみたいという思いがある。そのため、保育士資格の取得を目指して独学中で、すでに8科目中6科目に合格した。



### 北欧雑貨に香るエキゾチシズム



## 先生のお気に入り クリスマスカード

第七回 松田 和信先生の巻



松田 和信(まつだ かずのぶ)  
1954年、兵庫県赤穂市生まれ。専門はインドと中央アジアの仏教文庫。現在はヨーロッパの研究者たちと共同でアフガニスタンのパルミヤン渓谷から発見された仏教写本の解読に取り組んでいる。

人はだれでもエキゾチックなものに引かれます。ただ、何をエキゾチックと感じるかは、その人が住んでいる場所や環境によって異なります。身近なものはエキゾチックではありません。私は仏教を研究していますが、仏像や仏画を部屋に飾ろうとは思いません。京都に住んでいるので京都のものにも興味はありません。私が素敵だと思っ

のは、このリンドベリのクリスマスカードやイースターカードなのです。ステイグ・リンドベリ(1916~82)はスウェーデンを代表するデザイナーです。陶磁器、ファブリック、家具、日用品等に多くの作品を残しており、世界中に多くのコレクターがいます。

出合いのきっかけは、15年ほど前でしょうか。研究で訪れた北欧の雰囲気を入ったことでした。京都や東京の北欧雑貨を扱うショップ、あるいはスウェーデンやフィンランドのインテリア店なのです。

インターネットでヴィンテージ雑貨を探すとようになりました。なかでもリンドベリの作品が私の心の琴線に触れるのです。



このクリスマスやイースターのカードは、スウェーデンで実際に葉書として使われたものです。日本の葉書のちょうど半分ほどの大きさです。消印を見ると1944~45年のものです。第二次世界大戦の激動の最中にも、こんな素敵なカードを送っていたんですね。

ほかにも陶磁器やファブリックなど、リンドベリの作品は100点以上持っているでしょう。自宅のリビングには、縦2.5m×横1.2mの「生命の木」というタペストリーを掛けていますし、仕事部屋のソファテーブルも「ドラゴンと騎士」というエナメル画をはめ込んだものです。仏教学者には見えな

### 教育学部 橋本忠和特別任用教授が「読売教育賞」を受賞

# 7

教育学部の橋本忠和特別任用教授が「第62回読売教育賞」の美術教育部門最優秀賞を受賞しました。読売教育賞は教育現場で、意欲的な研究や創意あふれる指導を行い、すぐれた業績をあげている教育者や教育団体を広く全国から選ぶ、現場で指導する人々の励みとする。また、多様で創造性に富む教育環境づくりを推進することを目的に掲げられたものです。



### 歴史学部 斎藤英喜教授が「古代歴史文化みえ賞」を受賞

# 6



歴史学部の斎藤英喜教授が著書『古事記はいかに読まれてきたか―(神話)の変貌』で、古代歴史文化みえ賞を受賞しました。古代歴史文化賞は、古代史に関係の深い三重県・奈良県・鳥根県・宮崎県が共同で企画し、日本の古代の歴史や文化への関心を高めようと設けられた賞です。

### 「BUまなび隊 in 大阪」開催 教員・親・地域が共同して教育を!

# 3



9月1日、大阪府中央公会堂で「BUまなび隊 in 大阪」が開催されました。これは、全国でも最大規模の6学部10学科、大学院4研究科12専攻を開設している本学通信教育課程の学びを知ってもらうため、毎年学外の地域で行っているシンポジウムです。今回のテーマは「教育と福祉」。

基調講演では、大学の通信教育で学び教員免許を取得した、作家であり東京都教育委員である乙武洋匡さんが登壇。子どもたちのためにできることを小学校教員の経験から伝え、講演してくださいました。

続くパネルディスカッションでは乙武さん、本学の岡崎祐司社会福祉学部教授、藤松素子生涯学習機構長、松尾俊秀生涯学習部長が従来の世帯区分を前提にした社会制度や貧困問題による、子どもの教育をめぐる諸問題を社会福祉の観点から検討し、教員と親と地域が一緒になって教育を行う意識回帰の必要性などについて討論しました。

### 映画部 視覚障害者への声かけの大切さを訴える映像「何かお手伝いしましょうか?」製作に協力

# 8



映画部が、社会福祉法人京都ライトハウスの依頼を受け、視覚障害者が外出する際に大きな手助けとなる「声かけ」の重要性を訴える映像作品の製作を行いました。バスの乗り降りや買い物など、外出時に必要な視覚障害者への支援を映像化したもので、タイトルは「何かお手伝いしましょうか?」。これまで視覚障害者への「手引き(誘導などの支援)の仕方」に関する映像はありましたが、「声かけ」に関する映像はなく、撮影した映画部の日高和貴さん(教育学部臨床心理学科3年生)は「多くの人に見てもらいやすい映像にするために、教科書のようににはならないように心掛けた」と言います。

この映像は、京都府視覚障害者協会などが主催して行われた「第47回白杖安全デー」の集会の中で上映されました。今後、DVD化して配布するなど、視覚障害者支援の啓発に役立てられる予定です。

### 佛教大学ホームカミングデー2013 母校へお帰りなさい。今年のテーマは～旧懐・再会・友愛～

# 4



佛教大学同窓会 ホームページ → <http://www.bandhu.jp/>

同窓生のためのお祭り「ホームカミングデー」が11月3日(日)に開催され、今年で4回目を迎えました。今年も鷹陵祭の開催日程の都合上、ホームカミングデー単独開催となりましたが、前回の開学100周年記念イベント「ホームカミングデー」に続く多くの同窓生が母校へ帰ってこられました。新しい企画として、4月に完成した新校舎の学生食堂での「同窓会」懇親パーティーの開催。その他、応援団本部や文化系課外活動団体の学生たちの協力の下、演奏会や生け花、お茶会なども行い、在学が同窓生をお迎える手作り感あふれる本学ならではの温かいホームカミングデーとなりました。この様子は、同窓会ホームページでお知らせしていきますのでご覧ください。

### 平成25年度 第1回佛教大学社会連携センターフォーラム 『私たちが今、東日本大震災のボランティアとしてできること～「こころの復興」を支えるために～』を開催

# 9



東日本大震災から2年余りが経過した今だからできる支援について考えるフォーラムが、10月19日、紫野キャンパス常照ホールにて開催され、200名を超える方々が来場されました。このフォーラムは、企画から当日の運営まで、社会連携センター学生ボランティア室の学生スタッフによって行われました。

京都・関西の学生ができる支援を考えようと、「こころの復興」をテーマに、宮城県石巻市を中心に活動されている志村知穂氏(一般社団法人こころスマイルプロジェクト理事長 兼一般社団法人チーム王冠副代表)や、被災地や京都での避難者支援活動をしている本学学生による基調報告が行われました。志村氏は、現地の悲しみや苦しみを継続して寄り添うことの大切さを訴えました。そのほか、来場者とのワークショップや、ボランティアアセンダーを設置する他大学の学生スタッフを迎えパネルディスカッションを実施し、活発な意見交換を行うことができました。

### 第47回 鷹陵祭を開催 テーマは「一祭一会」

# 5



10月29日～31日に第47回鷹陵祭が開催されました。今年も「一祭一会(いっさいいちごい)」というテーマを掲げ、出会った人と共に祭りを作り上げて、関わりを持ち続けていけるよう努めました。全日程平日での開催となりましたが、DAIGO トークショーや模擬店、各種企画へ多くの方々にご参加いただきました。

入試に関するお知らせ 2014(平成26)年度 佛教大学入学試験日程

一般入試A日程

試験日	出願期間	試験会場
2月1日(土)・2日(日)・3日(月)	1月6日(月)～1月15日(水) (消印有効) 持参日 1月16日(木) 9:00～17:00 受付場所:紫野キャンパス	本学(紫野キャンパス)・東京・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・奈良・和歌山・米子・広島・高松・福岡 ※試験会場によって試験実施日が異なります。

一般入試B日程

試験日	出願期間	試験会場
3月5日(水)・6日(木)	2月12日(水)～2月19日(水) (消印有効) 持参日 2月20日(木) 9:00～17:00 受付場所:紫野キャンパス	本学(紫野キャンパス)・名古屋・彦根・大阪・神戸・岡山

大学入試センター試験利用入試(前期・後期)

試験日	出願期間	試験会場
前期 ◎センター試験日 1月18日(土)・19日(日)	1月6日(月)～1月15日(水) (消印有効) 持参日 1月16日(木) 9:00～17:00 受付場所:紫野キャンパス	※個別学力検査等は実施しません。
後期	2月12日(水)～2月27日(木) (消印有効) 持参日 2月28日(金) 9:00～17:00 受付場所:紫野キャンパス	※個別学力検査等は実施しません。

大学院・編入学・社会人・別科等の入試

試験日	出願期間	試験会場
2月15日(土)	1月6日(月)～1月20日(月) (消印有効)	本学(紫野キャンパス)

宗教文化ミュージアム イベントカレンダー(2014年1月～3月)



**宗教文化ミュージアム**  
宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

- アクセス**
- JR京都駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分
  - 京阪三条駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢校前」すぐ
  - 佛教大学紫野キャンパスより京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢校前」すぐ

**お問い合わせ先** 宗教文化ミュージアム  
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26  
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121

2014年 1月26日(日) 午前の部 10:00～/午後の部 14:00～ ※公演内容は同じになります。	第22回シアター公演「京に舞う、早池峰神楽」 出演:早池峰岳神楽保存会 解説:中嶋 奈津子(本学非常勤講師)
1月25日(土)～3月8日(土)	冬期企画展「佛大追遠 I 一佛教専門学校の思い出」

(お詫びと訂正)「B-ism No.6(2013年6月12日発行)」におきまして、記載に誤りがありました。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。  
●p.13「学生編集室の窓」学生氏名 誤)矢島 由加理(やしま ゆかり)→正)矢島 由加利(やじま ゆかり)

開設後初めて、看護学科について詳しく紹介させていただきました。  
総合大学という利点を生かして、地域の人々に支えられながら「人に寄り添う」看護師の育成を行ってまいりますので、今後の看護学科にぜひご注目ください。  
今号は美山でのエコツアーや、むらさきつなど学生の活動を取材し、改めて多くの地域の人々に佛教大学が支えられていることを実感する機会となりました。  
みなさまのあたたかいご支援に感謝申し上げます。 佛教大学広報課

# B-information

みんなの掲示板

2014年 主な行事予定

平成26年度 入学宣誓式	Date	平成25年度学位記、卒業証書授与式 (通信教育課程) (第14回前期大学院、第58回前期学部)	Date	平成25年度学位記、卒業、修了証書授与式 (第46回大学院、第62回学部、第36回別科(仏教専修))	Date	修正会・始講式	Date
	4 / 1 (tue.)		3 / 25 (tue.)		3 / 18 (tue.)		1 / 6 (mon.)

**同窓会提供講座「人間」**

テーマ **「スポーツアナウンサーが実況歴25年で学んだ人間力」**

講演 **寺西裕一** (佛教大学社会学部社会学科卒業)

無料・申込不要

開催日時:平成26年1月25日(土)13時～14時30分  
会場:佛教大学四条センター ※12時より受付

どなたでもご参加いただけます (定員150名)

同窓会提供講座開講について  
佛教大学同窓会では、人生の荒波を航海なさる皆様にとっての「学びの母港(母校)」となることを願い、同窓会・鷹陵同窓会の会員を含む広く一般の方々に生涯教育の場を提供する事業として、平成15年度より佛教大学四条センターにおいて講座を開講しています。

**第7回佛教大学小学生俳句大賞 作品募集**

全国の小学生のみなから俳句を募集!!

テーマは自由! どんな俳句でもOK!

応募資格 ●小学生  
応募部門 ●低学年の部(1～3年生)  
●高学年の部(4～6年生)  
応募締切 **2014年1月31日必着**

http://www.bukkyo-u.ac.jp/haiku/

読者プレゼントの **お知らせ**

佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。同面添付のアンケートハガキにてご応募ください。

陸上競技部・硬式野球部 キュービーストラップ 各5名様

計10名様

第6回佛教大学小学生俳句大賞 入賞作品集

佛教大学公式Facebookページを開設しています!

公式ホームページとともに大学の情報を発信しています。ソーシャルメディアを活用することで、より広く、そして佛教大学の今をお知らせします。ぜひご覧ください。

【公式FacebookURL】  
http://www.facebook.com/bukkyo.univ